

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
倫理	選択（理系）	3	3	普通科

科目の概要	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につけることを目指す科目である。			
教材名	教科書	『 ETHICS 倫理 』(東京書籍)		
	副教材	『 最新版 倫理資料集 ソフィエ～智を学び夢を育む～ 』(清水書院)		
担当者	白幡優作			
学習到達目標	① 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。(知識・技能) ② 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする。(思考・判断・表現) ③ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。(主体的に学習に取り組む態度)			
学習方法	・教科書・資料集を使用し、授業内で配布するプリントに授業内容をまとめる。プリントを用いて重要語句の説明および知識活用の課題に取り組む。 ・授業の形式は一斉授業を基本とするが、1時間に数回、ワークシートの課題を各自考察し、グループワークやペアワークでの意見交換する場面、グループやペアで答えを出し、全体と共有する場合を設定する。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	・単元テスト ・プリント	・授業 ・プリント ・単元テスト	・授業 ・プリント ・単元テスト
	A	先哲の思想を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について十分に理解している。	現代の倫理的諸課題を解決するために、先哲の思想などを十分に活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。
	B	先哲の思想を通して、現代の諸課題を捉え、思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。	現代の倫理的諸課題を解決するために、先哲の思想などを活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。
	C	先哲の思想を通して、現代の諸課題を捉え、思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解できていない。	現代の倫理的諸課題を解決するために、先哲の思想などを活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができない。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について追究することができず、他者と共によりよく生きる自己を形成しようしていない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	第1編 現代に生きる自己の課題 と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き	・「倫理」の学習の導入として、さまざまな人間の定義を整理して、人間の特徴について多面的・多角的に考察する	6	単元テスト①
5	第2章 さまざまな人生観・倫理観 ・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想 3節 宗教と社会	・古代思想を手掛かりに「理性」や「愛」をキーワードとして、普遍的な人生の課題に向き合い自己の生き方や、人間としてどうあるべきかについて考察する。 ・現代の日本人にも強い影響を及ぼしている朱子学と、これへの批判である諸学についての理解を深め、エリート文化と庶民文化の両面から現代を生きる自己とのつながりについて考察し、他者と共有する。	10	単元テスト②
6	4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術		12	単元テスト③ 単元テスト④
7	第3章 さまざまな人生観・倫理観 ・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開	・現代の資本主義社会を形成する思想背景としての「理性主義」や「科学的思考」について理解を深め、自己と他者のより良い関係について考察し、自己および他者の意見を共有し比較検討する。 ・理性主義の限界と、個人の在り方について理解を深め、自己の理想実現のために他者とどのような関係を結ぶかについて自己および他者の意見を共有し比較検討する。	8	単元テスト⑤
8	3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念 6節 人間観・言語観の 問いなおし		12	単元テスト⑥
9	7節 他者・自然とのかかわり		8	単元テスト⑦
10	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	・日本人の思想に影響を及ぼし続けている古代思想と仏教・儒教の外来思想について理解を深め、日本人の「ものの考え方」を既習内容(西洋思想)と比較しながら自己の生き方と関連付けて考察し、他者と共有して比較検討する。 ・現代を生きる日本人として、外国の思想の受容と変化への対応について理解を深め、今後も変化し続ける世界にどう関わるか自己の生き方について考察し他者と比較検討する。	12	単元テスト⑧
11	7節 国際社会に生きる日本人の自覚		10	単元テスト⑨
12	第2編 現代の諸課題と倫理 1節 生命 2節 自然 3節 科学技術 4節 福祉 5節 文化と宗教 6節 戦争と平和	・現代の人類社会が直面する課題について、倫理の思考方法で自己にできる関わりの両方について考察し、他者と比較検討しながらより良い人類社会の在り方について議論する。 ・文化の概念や、グローバル社会における宗教の問題、多文化主義について理解を深め、異なる文化の接触による新たな文化の創造や、異質な価値をもつ人々の共生社会などについて多面的・多角的に考察する。	10	
1			2	